

せんだいスクール・オブ・デザイン

学生便覧・シラバス

2013 年度春学期

2013.5.27 改訂版

目次

1. 受講モデル	2
2. 全体スケジュール	3
3. 2013 年度春学期開講科目シラバス	
PBL スタジオ 1 メディア軸 「演劇／ライブから考える」／S-meme06 制作	4
PBL スタジオ 2 環境軸 センダイオアシス／ブルーグリーンスタジオ 5	5
PBL スタジオ 3 社会軸 メモリアル・ランドスケープ 2	6
PBL スタジオ 4 コミュニケーション軸 Cityformat - 都市生活のインターフェイスを考えなおす -	7
Interactive レクチャ 編集者／ジャーナリストが語るデザインの世界	8
クリエイター・イン・レジデンス 瞬間をとじ込める椅子	9
アジャイル・リサーチ・プロジェクト (ARP) 7 災害のデータスケープ 3	10
4. 講師とスタッフ	11

1. 受講モデル

受講コース：

受講にあたっては在籍期間と修了認定要件に応じて2種類のコースがあります。
受講および修了認定は、半年ごと年2回おこなわれます。

コース	在籍期間	修了認定に必要な取得ポイント数
基礎コース	半年	1.2以上。少なくともPBLスタジオの中から1スタジオを選択し、Interactiveレクチャを履修することが最小条件。
発展コース	一年	2.4以上。少なくとも半期ごとにPBLスタジオの中から1スタジオを選択し、Interactiveレクチャを履修すること。

2013年度春学期からの受講期間は、下記のとおりです。

- ・基礎コース 2013年5月11日から2013年9月30日まで
- ・発展コース 2013年5月11日から2014年3月31日まで

※基礎コースを修了認定された方は、再度半年受講いただくことにより発展コース修了者として認定されます。

受講料：無料です。ただし、保険料や課題制作材料費等、一部実費の自己負担をいただく場合があります。

開講科目：

種別	科目	春学期 [5月-9月]	秋学期 [11月-3月]	ポイント
選択 必修科目	PBLスタジオ1 [メディア軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ2 [環境軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ3 [社会軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ4 [コミュニケーション軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ5 [国際軸]	開講せず	開講	1.0
必修科目	Interactiveレクチャ	3回	3回	0.2 [2回以上の出席でポイント取得]
選択科目	Future ラボ	開講せず	開講	0.5
	クリエイタ・イン・レジデンス	開講	開講せず	0.5
	アジャイル・リサーチ・プロジェクト [ARP]	開講		0.5

ただし、複数のPBLスタジオをひとつの学期内で履修することはできません。

修了要件：ポイント取得の可否はスタジオマスターにより判定されます。

主に講義出欠、積極性、成果品制作姿勢などにより総合的に判断します。

スタジオごとに諸条件が違いますので、詳細は各スタジオのシラバスをご確認下さい。

2. 全体スケジュール [2013 年度春学期]

学事日程：

2013 年 5 月 11 日 [土] 受講ガイダンス／開講式

2013 年 7 月 26 日 [金] 学内講評会

2013 年 8 月 11 日 [日] 成果発表会・修了式

発展コースの方は、引き続き 2013 年 11 月開講の秋学期を受講いただきます。

講義日程：変更になる場合があります。ウェブサイトのスケジュールを都度ご確認ください。

月	日	曜	週	PBL1 メディア	PBL2 環境	PBL3 社会	PBL4 コミュ	ILek	CiR	ARP7
5	11	土		開講式@KatahiraX						
	12	日								
	13	月								
	14	火								
	15	水	第 1 週							
	16	木		#1★						
	17	金			#1		#1			
	18	土				#1	#2★			
	19	日								
	20	月						#1★		
	21	火								
	22	水	第 2 週			#2★				
	23	木		#2★						
	24	金			#2★					
	25	土								
	26	日								
	27	月								#1
	28	火		#3★						
	29	水	第 3 週							
	30	木								
	31	金								
6	1	土			#3					
	2	日								
	3	月					#3			
	4	火				#3				
	5	水	第 4 週							
	6	木								
	7	金								
	8	土								
	9	日								
	10	月								
	11	火		#4						
	12	水	第 5 週			#4				
	13	木								
	14	金								
	15	土								
	16	日								
	17	月					#4			
	18	火		#5						
	19	水	第 6 週						キックオフ	
	20	木								
	21	金			#4	#5				
	22	土			#5					
	23	日								
	24	月								#2
	25	火						#2★		
	26	水	第 7 週						実施期間	
	27	木								
	28	金								
	29	土								
	30	日					#5			

★=オープンレクチャ(仮)

月	日	曜	週	PBL1 メディア	PBL2 環境	PBL3 社会	PBL4 コミュ	ILek	CiR	ARP7
7	1	月								
	2	火		#6						
	3	水	第 7 週							
	4	木			#6					
	5	金								
	6	土								
	7	日								
	8	月					#6			
	9	火								
	10	水	第 7 週			#6				#3
	11	木								
	12	金								
	13	土								
	14	日								
	15	月								
	16	火						#3★		
	17	水	第 7 週			#7	#7			
	18	木								
	19	金		#7						
	20	土								
	21	日								
	22	月								
	23	火				#8				
	24	水	第 7 週							
	25	木								
	26	金		学内講評会@KatahiraX						
	27	土								
	28	日								
	29	月								
	30	火								
	31	水	第 7 週							
8	1	木								
	2	金	第 7 週							
	3	土								
	4	日								
	5	月								
	6	火								
	7	水	第 7 週							
	8	木								
	9	金								
	10	土								
	11	日								
	12	月								
	13	火								
	14	水								
	15	木								
	16	金								
	17	土								
	18	日								
	19	月								
	20	火								
	21	水								
	22	木								
	23	金								
	24	土								
	25	日								
	26	月								
	27	火								
	28	水								
	29	木								
	30	金								
	31	土								

成果制作、発表準備期間

成果発表会@せんだいメディアテーク

テーマ：「演劇／ライブから考える」／S-meme06 制作

講師：五十嵐太郎 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

坂口 大洋 | 仙台高等専門学校建築デザイン学科 准教授

劇場、ホールなどの文化施設研究者の立場からレクチャー、アドバイスをを行う。

相馬 千秋 | NPO 法人アートネットワーク・ジャパン プログラムディレクター

国際舞台芸術祭「F/T (フェスティバル／トーキョー)」についてのレクチャーを行う。

前田 佳寿 | イラストレーター

ハードコア・パンクバンドのアートワークを手掛けた経験から、地域の音楽シーンのネットワークについてレクチャーを行う。

担当助手：斧澤未知子 | SSD 研究員 ※連絡先 | onozawa@archi.tohoku.ac.jp

趣 旨：メディア軸では、毎回の講義をスタジオを受講生による編集会議と位置付け、最終成果物として仙台から発信する文化批評誌である『S-meme』の第六号を制作する。テーマに基づいたリサーチ、インタビュー、フィールドワーク、原稿の執筆から編集・装幀デザインまで、雑誌制作に関わる全ての作業に自分の能力を活かしながら関わり、雑誌を完成させる。
今期の特集では仙台における演劇とライブ（音楽）の事情と歴史をまとめることを目指す。
スタジオ活動は主に下記のことがからなる。

- ・レクチャー : テーマに関する理解を深める。
- ・小課題 : 『S-meme』コンテンツとなる小課題が出題される。
- ・リサーチ : 仙台における演劇／ライブの場をリサーチし、記事にする。
- ・フィールドワーク : 仙台の演劇／ライブ訪問（予定）。
- ・雑誌制作作業、編集会議 : 原稿執筆から編集・装幀デザインまでを行い『S-meme』を完成させる。

修了要件：スタジオ成果物となる S-meme06「演劇／ライブから考える」号の制作のためのリサーチを伴った原稿執筆、レクチャーに対する質疑応答、編集作業、装幀デザインなどの作業に、自分の能力を活かして積極的に関わること。

スケジュール：各日 19：00～

#1	5/16 [木]	19：00-22：00	五十嵐・坂口・相馬		相馬千秋レクチャー
#2	5/23 [木]	19：00-22：00	坂口		キックオフミーティング／坂口大洋レクチャー
#3	5/28 [火]	19：00-22：00	五十嵐・坂口・前田		前田佳寿レクチャー／編集会議
#4	6/11 [火]	19：00-22：00	五十嵐・坂口		編集会議
#5	6/18 [火]	19：00-22：00	五十嵐・坂口		編集会議
#6	7/02 [火]	19：00-22：00	五十嵐・坂口		編集会議

備 考：上記以外にも装幀デザイン、文字起こし、校正、その他編集作業などで分科会として別途、メンバーの日程を調整しミーティングが発生する。

テーマ：センダイオアシス／ブルーグリーンスタジオ 5

講師：石田 壽一 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

皆川 典久 | 東京スリパチ学会会長／鹿島建設株式会社東北支店

地形と水系を体験的に理解するフィールドワークとその手法のレクチャー及び課題のエスキスを行う。

中野 和典 | 日本大学工学部土木工学科 准教授

グリーンインフラストラクチャーの概論と実践のレクチャー及び課題のエスキスを行う。

担当助手：井上 宗則 | 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻助手 ※連絡先 | m-inoue@archi.tohoku.ac.jp

アドバイザー：藤山真美子 | 東北大学大学院環境科学研究科 研究企画室助手

篠原章太郎 | 東北大学大学院環境科学研究科 研究支援者 ※発展コース受講生

趣 旨：干潟、湿地、湖沼、水路、水田など生態系サービスが期待される「グリーンインフラ」と、水域隣接生活環境との最適な関係をデザインする。今期は仙台市街を取り囲む丘陵地の水系や土地ポテンシャルに着目し、微水力発電の可能性やコミュニティへの展開を考える。

修了要件：スタジオ成果物となるグリーンインフラデザインに関連したレポート作成、レクチャーに対する質疑応答、各回のフィールドワークとミニワークショップなどの作業に、自分の能力を活かして積極的に関わること。

スケジュール：

#1	5/17 [金]	18:30-21:30	石田・皆川		ガイダンス
#2	5/24 [金]	18:30-21:30	石田・皆川・中野		中野和典レクチャー
#3	6/01 [土]	10:00-16:00	石田・皆川		フィールドワーク 1
#4	6/21 [金]	18:30-21:30	石田・篠原		ワークショップ
#5	6/22 [土]	10:00-16:00	石田・皆川		フィールドワーク 2
#6	7/05 [金]	18:30-21:30	石田・皆川・中野		エスキス
#7	7/19 [金]	18:30-21:30	石田・皆川		最終チェック

備 考：特になし

講師：小野田泰明 | 東北大学 大学院工学研究科 都市・建築学専攻 専攻長／教授

木下 斉 | 一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事

中心市街地活性化、社会起業等の経験から、経営を軸に置いた地域再生の実務的知見を講義。

担当助手：岩澤拓海 | SSD 研究員 ※連絡先 | iwasawa@archi.tohoku.ac.jp

趣旨： 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災とそれに伴う津波により、豊かな田園と松林が広がっていた仙台市沿岸部は一瞬の内に水の中に飲み込まれた。自然と人々が寄り添う風景が失われ、災害危険区域の指定と集団移転により、代々土地が繋ぎ止めてきた人々の紐帯は消滅の危機にある。

2012 年度秋学期の社会軸では、そうした状況にある仙台市沿岸部で、災害の「メモリアル」や「防災教育」といった公に資する役割を加えることで、地域の再生が現実的に可能となる方策について取り組んだ。公民連携経営によって支えられる「仕組みのデザイン」、自然資源を活かし地域に関わる人によって運営される「事業のデザイン」、住民や地域に関わる個人や団体が参画する「組織のデザイン」といった方法が詳細かつ具体的に検討された。

-

しかしながら、被災地における復興のプロセスは未だ途上である。今期は、先学期の取り組みを礎とし、現実の様々な制約の中で、土地の再生を「小さく始めて、大きく育てる」ためには何が必要なのかを、より実践的に検討する。

講師に、高校在学時から実際の商店街活性化に携わり、経営の観点から地域・都市の再生に取り組むカリスマ事業家 木下斉を迎え、「人」（住むことができない場所での地域運営を行う新たな形の地域主体のあり方）・「資金」（継続的に地域運営を行なっていくための資金計画）・「制度」（公負担を増加させず、民が積極的に関わる方策）のデザインを丁寧な調査と深い議論を通じて具体的に提示し、一部、その実現にも携わっていききたい。

修了要件：スタジオ前半に行われるフィールドワークに参加し、調査結果を元にしたディスカッション等に積極的に関わること。また、スタジオ後半では提案のための準備に参加し、企画書等の作成に個人の能力を活かして参加すること。

スケジュール：

# 1	05/18[土]	11:00-16:00	小野田		フィールドワーク／レクチャー
# 2	05/22[水]	19:00-21:00	小野田・木下		レクチャー
# 3	06/04[火]	19:00-21:00	小野田		ディスカッション／エスキス
# 4	06/13[木]	19:00-21:00	小野田		ディスカッション／エスキス
# 5	06/21[金]	19:00-21:00	小野田・木下		レビュー／ディスカッション
# 6	07/11[木]	19:00-21:00	小野田		ディスカッション／エスキス
# 7	07/18[木]	19:00-21:00	小野田		ディスカッション／エスキス
# 8	07/23[火]	19:00-21:00	小野田・木下		スタジオ内講評会

備考：上記日程の他に必要な際は別途ミーティング・フィールドワーク等の機会を設ける。積極的に外部の NPO、団体、プロジェクト等と協働することも予定している。

テーマ：Cityformat - 都市生活のインターフェイスを考えなおす -

講師：本江 正茂 | 東北大学都市・建築学専攻 准教授

logue | 菊地正宏 小川直人 酒井聡 柿崎慎也 鹿野護

領域を横断する対話を促進し、スタジオ全体のファシリテーションを行う。

木村 博之 | グラフィックデザイナー／株式会社チューブグラフィックス代表取締役

インフォグラフィックスの観点からワークショップのファシリテーションを行う。

丸山 新 | タイポ／グラフィックデザイナー | クリエイティブディレクター (&Form 代表)

タイポグラフィックデザインの観点からレクチャを行う。

担当助手：山田 哲也 | SSD 研究員 ※連絡先 | yamada@archi.tohoku.ac.jp

趣 旨：日常、私たちは一定の書式／フォーマットを介して、多くの仕事やサービス、情報をやりとりしている。都市が多種多様なシステムからなるものであり、それらシステム同士が接する境界面をインターフェースと呼ぶならば、都市生活はインターフェースの織物にほかならない。それら都市を形成する書式＝ Cityformat を情報／ヴィジュアルから考えなおす。今学期は、印刷物やサインにおいて、誰にでもわかりやすく美しいフォーマットを設計する視点や方法について実践的に取り組む。都市、地域、組織や施設といったコミュニティ内で用いられる印刷物などの情報提示の方法を設計し直すことで、そのユーザー＝デザインの専門知識や経験がないごく一般の人にも扱えるデザインのあり方を考え、美しいデザインと実用的なデザインの両立を目指す。

1. ベタ・ワークとしての課題：宮城野区文化センターでの情報デザインに関する提案（グラフィック、ナビ、システム等）をつくる。
2. メタ・ワークとしての課題：現場で可能な（非デザイナーのための）、よりよいCityformat のための原則（条件や作法、行為）を7-10個に整理する。

さらに将来的には、SSDの成果を利用したプログラムとして、下記のような展開を目指したい。

- よりよいCityformatのための原則から非デザイナーの美しいデザインと実用的なデザインの"教材"を作成する。
- 仙台市などの非デザイナーのための情報デザインの研修プログラムを構築し、実践的にパッケージ化する。

修了要件：講義への参加状況と最終製作物とを総合的に判断する。

スケジュール：

# 1	5/17	[金]	19:00-22:00	本江・木村・logue		ワークショップ 1
# 2	5/18	[土]	15:00-20:00	本江・木村・丸山・logue		ワークショップ 2+ディスカッション
# 3	6/03	[月]	19:00-22:00	本江・logue		エスキス
# 4	6/17	[月]	19:00-22:00	本江・logue		エスキス
# 5	6/30	[日]	10:00-18:00	本江・logue		プロトタイプング
# 6	7/08	[月]	19:00-22:00	本江・logue		ディスカッション
# 7	7/17	[水]	19:00-22:00	本江・logue		ディスカッション

テーマ：編集者／ジャーナリストが語るデザインの世界

講師：西谷 真理子 | 京都精華大学ポピュラーカルチャー学科／編集者

紫牟田 伸子 | 紫牟田伸子事務所／編集家、プロジェクトエディター

宮村 周子 | フリーランス／企画者、ライター

コーディネーター：五十嵐太郎 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

ファシリテーター：土岐 文乃 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教

佃 悠 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教

趣 旨：今期のInteractiveレクチャーのシリーズでは、デザインやアートの分野に関わる三人の女性編集者がゲストとなる。そして作品や活動など、デザインの世界がどのように伝達され、評価されるのかをエディターの立場から語ってもらう。

西谷真理子は、1974年に文化出版局に入社し、『装苑』や『ハイファッション』の編集を担当し、パリ支局時代には、コム・デ・ギャルソンやヨージ・ヤマモトの登場を目撃した。『high fashion』の休刊後は、『ハイファッション・オンライン』(<http://fashionjp.net/highfashiononline>)のチーフエディターとなる。2012年、ファッションに批評を導入すべく、『相対性コムデギャルソン論』を企画したことで話題を呼んだ。京都精華大学にて教鞭もとる。

紫牟田伸子は、『美術手帖』や『デザインの現場』などの編集を経て、日本デザインセンターのチーフプロデューサーとして商品企画やプランニングなどを行う。2011年より個人事務所をスタート。編集という視点から、地域のものづくりや地域活性化のプロジェクトを手がける。共著として、『シビック・プライド 都市のコミュニケーションをデザインする』がある。

そして宮村周子は、『美術手帖』の編集を経て、独立。フリーランスで編集やライター、公募の審査などを行う。2008年、『スタジオ・ボイス』の編集者・鈴木真子とクリエイティブ・ユニット「来来／LaiRai」を結成。展覧会の企画や、奈良美智の作品集ほか、カタログなどを手がける。

この科目では、以上の三組のレクチャーと、受講者による長時間のインタラクティブな質疑応答によって、言葉によってデザインを論じることを学ぶ。

修了要件：3 回開催のうち 2 回以上の出席

スケジュール：

- | | | | | | |
|----|----------|-------------|-------|--|-----------------------------|
| #1 | 5/20 [月] | 19:00-22:00 | 西谷真理子 | | 建築的ファッションを考える |
| #2 | 6/25 [火] | 19:00-22:00 | 紫牟田伸子 | | モノとコトのデザインの現在：変化するデザインの捉え方 |
| #3 | 7/16 [火] | 19:00-22:00 | 宮村 周子 | | 奈良美智からチンポムまで：日本のアートシーンのこの十年 |
-

場 所： #1～3 house/阿部仁史アトリエ [仙台市若林区卸町 3 丁目 3-16]

備 考：一般公開 | 要事前申込

当日ドリンク代として 500 円頂きます。ご協力下さい。

テーマ：瞬間をとじ込める椅子

招待作家：studio velocity [栗原健太郎 + 岩月美穂] (建築家)

担当教員：本江 正茂 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授

担当助手：斧澤未知子 | SSD 研究員 ※連絡先 | onozawa@archi.tohoku.ac.jp

趣 旨：クリエイター・イン・レジデンスでは、受講生は、制作へ積極的に参加すると共に、招待作家であるクリエイターの制作過程を観察し、そこから得た気づきを元に何らかの形で「記録作品」として成果の形にすることを旨とする。

今回は名古屋を中心に活躍する建築家ユニット studio velocity を招待作家として招き、仙台に存在する自然物を用いて、「瞬間を閉じ込める椅子」の制作を行う。

制作は仙台の植物など現地に存在する自然物を採取するところから始まる。採取された自然物は長期保存を可能にするために乾燥などさせ、椅子の型の中に透明な硬化性の樹脂と一緒に流し込み椅子を制作する。透明な椅子の中に、時間が止まったかのように自然物が浮いている状態をつくる。

製作期間は 6 月 24 日 (月) ~ 6 月 30 日 (日) となっているが、制作された椅子は、8 月 10 日 (土) ~ 10 月 27 日 (日) まで愛知県で開催される国際芸術展「あいちトリエンナーレ 2013」での studio velocity の出展会場に設置・展示され、訪れた人が実際に使用できるようにする。

修了要件：

- ・ 従事日誌への記録。
- ・ 制作への参加を通じて得た学びに関する記録作品 (アートワーク、ムービー、写真など) の提出。
- ・ 制作への積極的参加。
- ・ ラップアップミーティングへの参加。

※レポートの仕様については、授業の中で指示する。

スケジュール：

【キックオフミーティング】6 月 19 日 (水) 18 時 30 分～

【制作期間】6 月 24 日 (月) ~ 6 月 30 日 (日) ※制作状況により変更有

【展示期間】製作期間～9 月末

テーマ：災害のデータスケープ 3

講 師：本江正茂 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授

担当助手：山田哲也 | SSD 研究員 ※連絡先 | yamada@archi.tohoku.ac.jp

趣 旨：本プロジェクトでは災害教訓の継承および研究機関による研究成果のアウトリーチを目的として、災害に関する研究データの適切な視覚家表現を検討し、実践的な表現形式によって発表する。具体的には、東北大学災害科学国際研究所の研究者を招き、勉強会を開催し、その知見を適切に伝えるためのデザインを検討し、プロトタイプを制作し提案する。
今回はシリーズの第三弾として、新たな表現方法の開発を目指す。

修了要件：講義への参加状況と最終製作物とを総合的に判断する。

スケジュール：

# 1	5/27 [月]	19:00-22:00	本江		キックオフ
# 2	6/24 [月]	19:00-22:00	本江		エスキス
# 3	7/10 [水]	19:00-22:00	本江		エスキス

2013 年度春学期 講師とスタッフ一覧

| 東北大学教員 |

本江 正茂	[東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授]
五十嵐太郎	[東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
石田 壽一	[東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
小野田泰明	[東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
佃 悠	[東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教]
土岐 文乃	[東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教]
井上 宗則	[東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助手]
藤山真美子	[東北大学大学院環境科学研究科 研究企画室 助手]

| 非常勤講師 | ※科目順

坂口 大洋	[仙台高等専門学校建築デザイン学科 准教授]
皆川 典久	[東京スリバチ学会会長、鹿島建設株式会社 東北支店建築設計部]
木村 斉	[一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事]
菊地 正宏	[logue ボードメンバー]

| 招聘講師 | ※科目順

相馬 千秋	[NPO 法人アートネットワーク・ジャパン プログラムディレクター]
前田 佳寿	[イラストレーター]
中野 和典	[日本大学工学部土木工学科 准教授]
木村 博之	[グラフィックデザイナー／株式会社チューブグラフィックス代表取締役]
丸山 新	[タイポ／グラフィックデザイナー クリエイティブディレクター (&Form 代表)]
西谷 真理子	[京都精華大学ポピュラーカルチャー学科／編集者]
紫牟田 伸子	[紫牟田伸子事務所／編集家、プロジェクトエディター]
宮村 周子	[フリーランス/企画者、ライター]
栗原健太郎	[studio velocity／建築家]
岩月 美穂	[studio velocity／建築家]

| SSD 研究員 |

岩澤 拓海	[東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
斧澤未知子	[東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
鎌田 恵子	[東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
山田 哲也	[東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]

お問い合わせ：

せんだいスクール・オブ・デザイン事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 電気通信研究所内

東北大学大学院工学研究科都市建築学専攻

tel : 022-217-6355

fax : 022-217-6350

email : info@sendaischoolofdesign.jp

<http://sendaischoolofdesign.jp>